

2019 年度 UPLB 演習報告

【9/1 - 9/21】 2019 先発チーム(愛称 BATCH 10) 「高度教養科目」等 履修学生

【9/8 - 9/28】 2019 後発チーム(愛称 BATCH 11) 「神戸グローバルチャレンジプログラム」



今年度も フィリピン大学ロスバニョス校にて 英語特別演習を実施しました！

フィリピン大学ロスバニョス校(UPLB)に3週間滞在して生きた英語を学ぶUPLB研修を、
本年も 9月に開催しました。先発チームは農学部・理学部 2回生から大学院農学研究科

1回生までの計15名で、9月1日(日)に関空を発ち、9月21日(土)に帰国しました。後発チーム(神戸グローバルチャレンジプログラム)は 農学部・理学部の1~2回生計20名で、9月8日(日)に関空を発ち、9月28日(土)に帰国しました。

毎日、午前3時間、午後3時間の授業を受けた後、夕方2時間 Guided Interaction という地元学生との交流の時間が用意されていました。神戸大生4名程度のグループそれぞれに2名のUPLB学生が Facilitator としてつき、ショッピングモール、カフェ、レストラン、ボーリング場、ビリヤード場等好きなところへ行って遊びながら「生きた英語」を学びました。夕食の後は、神戸大学が雇用したUPLB学生(Student Guardian)による特別レッスンの時間でした。内容は自由で、学生が自主的にアレンジします。授業の宿題を見てもらったり、あるいは、日本人の苦手な発音(LとR、thなど)の練習相手をしてもらったり、ということが多かったようです。そのほか、カラオケ大会、文化的施設の観光旅行、植物園・自然史博物館・有機農場の訪問など、盛りだくさんの企画を楽しみました。

帰国後も、参加学生とUPLBのStudent Guardian、Facilitatorとの交流は続いています。この国境を越えた絆は、参加学生の一生の宝物になることと思います。

(文責: 農学研究科教授・演習担当 土佐幸雄)



BATCH 10 参加学生レポートは [こちら](#)



BATCH 11 参加学生レポートは [こちら](#)